



研究テーマ

1 海産魚の完全養殖技術開発

2 牡蠣類養殖に関する基礎的研究

3 水産物の機能性成分に関する定量測定技術の開発・実用化



研究概要

水産増養殖学および水産栄養化学を軸とし、水産業の現場が抱える様々な課題の解決に取り組んでいる。生産者や地方自治体と連携した研究開発を行い、食資源の確保、地域産業の活性化、地域ブランド力の向上を目指す。

1 海産魚の完全養殖技術開発

マサバをはじめ海産魚の完全養殖技術開発とブランド化に取り組んでいる。これまでに親魚育成ー採卵ー種苗生産ー養殖を通した一連の取り組みから、マサバの完全養殖技術を確立した。種苗生産および養殖技術の開発に加え、養殖マサバの旬(脂の乗り:ブランドの指標)を数値化し、生産物の高付加価値化、ブランド化にも取り組んでいる。
また、魚粉への依存を低減し、持続可能性や収益性を向上させるための低魚粉・高付加価値型の飼料開発を行っている。

2 牡蠣類養殖に関する基礎的研究

養殖現場において、環境学および栄養学的手法により、種苗導入から出荷までの成長や身入り等の課題を解決する。養殖牡蠣の地域ブランド化に資する実証研究を行っている。

3 水産物の機能性成分に関する定量測定技術の開発・実用化

マアジやマサバ等の魚種について、水産物の機能性表示制度やおいしさの客観的評価に活用可能な脂質含量や脂肪酸含量等の科学的根拠の集積を行っている。

キーワード

完全養殖
種苗生産
マサバ
マアジ
牡蠣
飼料
地域ブランド
地域活性化
水産業

特許情報・
共同研究・
応用分野など

宮崎県、宮崎市からの受託研究
宮崎県内民間企業からの受託研究
唐津市、九州大学との共同研究

ホームページ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/fishery/staff02/nagano/>

技術相談に応じられる関連分野

魚介類の種苗生産および養殖技術開発
天然魚および養殖魚の一般成分・脂肪酸(EPA・DHA)の分析
高品質・低コスト飼料の開発

メッセージ

メッセージ入力欄